

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+ daysつくば西平塚校		
○保護者評価実施期間	2026年1月30日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年1月30日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動によって部屋が分けられている	<ul style="list-style-type: none"> 活動ごとに部屋を分けているので、気持ちの切り替えがしやすい 防犯カメラの活用 	職員の出勤状況等によっては各部屋に職員の配置ができないので、活動を制限する場合がある。制限が子どもたちにとって辛いものにならないように遊びの提供を工夫する

2	活動プログラムを個々に合わせている	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達段階を第一にプログラムを考えている ・提供したプログラムが合っていないときは難易度を変えたり子どもに聞き取りをしたり、適宜改善を図っている 	どの職員もプログラムを行えるように、職員間で共有や連携を行っていく
3	家族支援	ご相談をいただいた際には、ご家族の思いに寄り添い同じ方向を向けるように面談等を行っている。必要に応じて本人、ご家族、きょうだい支援を行っている	保護者会や参観の他にも保護者同士の交流や学びの場を増やす

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応についての説明が不足	事故防止や感染症対策等のマニュアルは整備され、避難訓練も定期的に行っているが、周知が不十分だった	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルや内容は契約時に伝える ・避難訓練の様子やマニュアルの改定時はHUGでお伝えしていく

2	地域や他の子どもとの交流	児童発達支援の児童の滞在時間が短いため、支援プログラムをこなすことで時間がいっぱいとなっている	週末に親子イベント等を取り入れ交流の機会を増やす
3	移行支援	対象の児童がいないため移行支援は現在行っていない	地域で暮らす他の子どもと繋がりながら日常生活を送れるように支援していく